

[専門科目]

専門科目名	主な学習内容
工業技術基礎	工業の専門科目の基礎となる技術・技能を習得し、それらを身に付けるための実験・実習を行います。 (手仕上げ・アーク溶接・基礎製図)
情報技術基礎	工業高校では、コンピューターの幅広い知識を充分理解し、体得する必要があります。ワードプロセッサソフト、表計算ソフト、プレゼンテーション支援ソフトなどの学習をします。
機械製図	図面は万国共通の工業上の言葉とされています。 JIS 規格の製図通則や約束などについて学習し、設計・製図を行います。
課題研究	4年時の実習で、3年間学んだ実習の成果を限りなく活かし、グループ毎に決定した課題の製作に取り組みます。
機械実習	工業技術基礎で学んだ内容を発展させ、技術・技能を習得するために次のような内容で実技指導を行っています。 2年次：旋盤Ⅰ、ガス溶接Ⅰ、計測・電気 3年次：旋盤Ⅱ、ガス溶接Ⅱ、シーケンス制御
機械工作	機械を製作するために使用する機械材料、特に鉄鋼材料、非鉄金属材料について、その特性や加工性などについて学習します。 また、無駄なく安全かつ効率的に作業を行うかを学習します。
機械設計	機械の総合的な学習を行います。機械を構成する要素の運動の仕方、力の掛かり方、材料選定、形状等あらゆる面から系統的に学び、より良い設計を目指して基本的な事柄を中心に学習します。
自動車工学	自動車および自動車を構成する各部の基礎的な構造と機能を学習します。ガソリンエンジンの基本から、現在注目されているハイブリットまでの幅広く学習をします。
生産システム技術	工業製品をつくり出す設備や方法は、電気・電子・情報・機械・生産管理などの技術に支えられていることを学習します。